



\*ETK1045026A\*

CFJB72-UCM<P1><P2>

住友電気工業株式会社

工法書

本品に油等が付着しますと、ネジ部品に亀裂が発生し本来の特性を損なう恐れがありますので、下記の点につき注意して組み立てをお願いします。

(1) 取り付け場所の注意事項

本品を取り付ける際に、取り付け箇所に油等が付着していないか確認して、油等が付着している場合はきれいに拭き取ってください。

(2) 本品を組み立てる際の注意事項

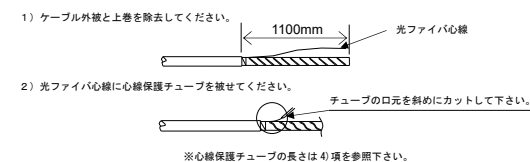
- ① アルコールやアセトン等の薬品での本品の清掃は行わないで下さい。
② 油等の付いた工具を用いて組み立てないで下さい。

安全上のご注意 ~安全にご使用いただくために必ずお守りください~

下記には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示す通りになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

Table with 2 columns: Safety symbols (Warning, Caution, Attention, Note) and corresponding safety instructions in Japanese.

1. 光ケーブル外被の剥ぎ取りとスロットの切断



- 3) 下図す法にてスロットの切断と、テンションメンバの剥き出しを行って下さい。
※心線に損傷を与えないように注意してください。
※FRPテンションメンバの場合は、テンションメンバベースを被せて処理してください。

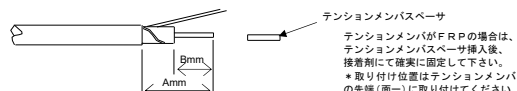
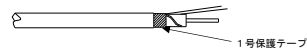


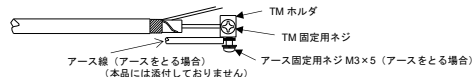
Table with 4 columns: Cable introduction direction (Top, Bottom, Left/Right), Dimensions A and B, and Heart protection tube length.

- 4) 心線保護チューブ上に1号保護テープを2回以上巻き付けて固定してください。

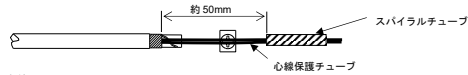


5) TMホルダの固定

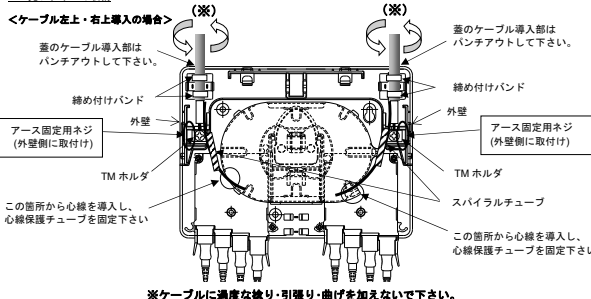
- 下図のようにTMホルダをテンションメンバの先端にプラスドライバーにてしっかり締め付けて固定下さい。
●アースをとる際は、添付のアース固定用ネジM3x5(ワッパ、ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞワｯｼﾞ付)を用いて下図のように固定して下さい。
<アースをとる際の注意事項>
・ケーブルが「下導入」「左導入」「右導入」の場合は、TMホルダはそのままで使用下さい。
・ケーブルが「右導入」又は「左上導入」の場合は、TMホルダのTM固定用ネジを反対側に付け替えて下さい。
・アース固定用ネジは、次項「2. 光ファイバの収納」内、各ケーブル導入部に構内で示す箇所にのりをつけて下さい。



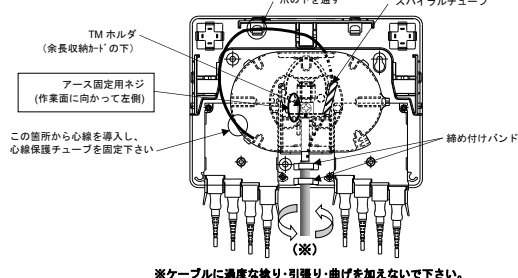
- 6) スパイラルチューブの取り付け
下図のように複数本の心線保護チューブをスパイラルチューブ(50mm)で束ねて下さい。



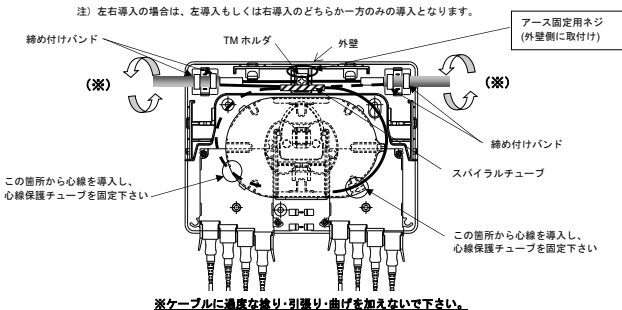
2. 光ファイバの収納



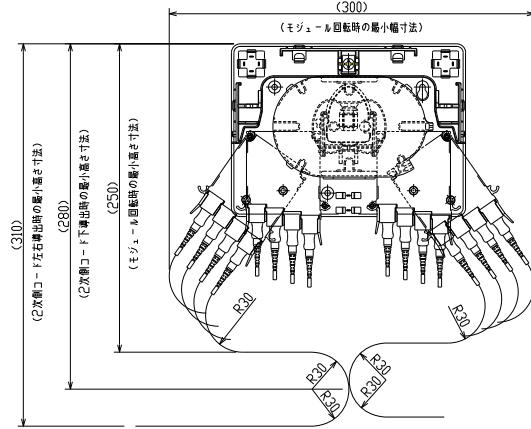
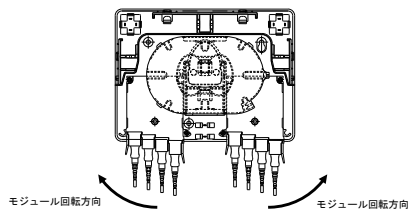
<ケーブル下導入の場合>



<ケーブル左右導入の場合>



- 3. コネクタの着脱
コネクタ着脱の際は、ミニブレ配線モジュールを下図のように回転させて、ミニブレ配線モジュールを手で支えながら作業して下さい。



配線スペースについて